

2015年度 八郷オリエンタルカップ700K放鳩ルポ&レース詳細

協会作出鳩 特別頒布 **18羽限定**

特集 / •伊賀国際ダービー400Kルポ・ベストテン・血統紹介

•ヤンセンの伝説 最終回

新シリーズ / 賛助でエンジョイ!



15年春季・伊賀 国際ダービーレース400K優勝
“Q01”

14OL06901 DCW ♂

木村孝男鳩舎作・委託 (NEW宮城・岩沼連合会)

*伊賀 連合会対抗レース300K全国41位

表紙の鳩

日本人の心「和」を重んずる真の愛鳩家

15年春伊賀国際鳩舎国際ダービー400K優勝

木村孝男鳩舎(岩沼連合会)

伊賀国際鳩舎シリーズ第三戦・国際ダービー400キロで見事委託レース初優勝を飾った木村孝男さん(岩沼)。レース歴40年のベテランは今回の勝利よりもその前戦である連合会対抗300キロで岩沼連合会がMVPクラスの活躍したことに喜びを感じているようだ。自分の活躍より他人の活躍——。日本人としての「和」を重んじる愛鳩家・木村孝男という男にスポットをあてる。

◆GNがハイライト

木村孝男さん(岩沼)がレース鳩の飼育を始めたのは、小学生の頃だ。今なお交流が続く友人から紹介されたのがきっかけで、キャリアは今年で41年目となる。本格的に鳩レースをスタートしたのは社会人になってから。しかし調理師という仕事柄、時間に余裕がとれず管理に集中できなかったという。ゆえに少しでも趣味に時間を割けられるよう、20代後半に独立。だがかえってこれがさらなる多忙を生み、むしろ鳩レースどころではない環境となった。

しかしそれでも木村さんは地元の強豪鳩舎に数えられるほどに強い。連合会優勝はもちろんのこと、総合シングル入賞した経験も多数ある。そんな彼のハイライトは80年代、初参戦した西鹿島GNで全鳩帰還を果たしたことが、

「今まで連合会で優勝してもあまり反応がなかったのですが、GNで2羽出して2羽帰したら、周りが見せてくれ、見せてくれた。ここま

で好反応を示してくれたのはとても印象的でした。」

あの時受けた鳩仲間からの賞賛は今でも鮮明に覚えている。それから現在に至るまで木村さんは西鹿島GNの虜だ。

再び「それ」に触れようと総合優勝鳩舎のところによく足を運び、競争から作出に至るまで成功のメソッドを勉強しにまわっていた。木村さんが掴んだGN総合優入賞鳩はなんと100羽以上に及び、その特徴の全てを自分の掌に記憶させている。

その他、地元の有名鳩舎にして当協会の常任理事を務めたことのある遠藤芳春氏に師事するなど鳩レースに對し非常に研究熱心だったが、当人曰く、勝負師というわけではない。木村さんにとって鳩レースとは「人のつながり」であり、仲間との絆を重んじ、むしろ自分よりも鳩友の勝利を喜ぶ方とのことである。

◆東日本震災で見せた日本人の心

11年3月11日、マグニチュード9.0という国内史上最大級の地震

鳩を無償で提供したり、また岩沼連合会として鳩レースそのものが再び開催できるよう、できる限りのことをやった。その努力もあって11年秋シーズンを無事に迎えることができ、木村さんを含め同連合会員ほとんどの参加を見た。

「自分よりも仲間を」という日本人の心——「和」をこまに体現するこの男のエピソードは、なんとベルギーの鳩レース専門紙に取り上げられ、多くの著名鳩舎たちの感動と共に呼んだ。この記事がきっかけで日本鳩レース界のみならずヨーロッパ鳩界をも巻き込んだ東日本大震災のチャリティ活動がスタートしたのは、知る人ぞ知るエピソードである。

◆「おめでとう」だけで着信履歴50件以上

今年、木村さんは連合会の仲間とともに伊賀国際鳩舎の連合会対抗レースに初めて参戦した。1羽のみの委託であったが、同レースで堂々の全国41位。偶然のカップリングだったにも関わらず、父親はニコ・フォルケンスの代表鳩「スーパイヤリング」(モントーバンN優勝)の孫鳩で、鳩友の熊谷宏(南三陸)さんより導入した逸品である。一方の母親は「ダライ」というノルマン作翔のKBDB長距離Nエースピジョン受賞鳩の娘。自身が惚れ惚れ込んで手に入れたこれもまた逸品だ。

系統的に一級品であり、なおかつ距離も伸びると踏んだ木村さんは、400キロ以降の続行を決意。そのトリがなんと国際ダービー400キロで後続を13分以上突き放し、

ぶつちぎりのスピードで優勝を果たしたのだ。速報が流れた直後にかかってきた電話だけでなんと50件以上！ その時分、仕事中であったため携帯に出られなかったのはもちろん、自身の優勝など考えもしなかった木村さんは、着信履歴数をみて、一体何事かとただただ驚いたという。恐る恐る1人、1人とリダイヤルすると「もちろんみな「おめでとう」という祝福の声だった。」

◆日本人愛鳩家の真髓

大勢の鳩仲間から祝福を受け、4月15日に渡辺敏治連合会長をはじめとする岩沼連合会の有志と同じ東北の鳩友ら計5名が集い、ささやかながら木村さんの祝賀会が開催された。といってももちろんこれはあくまで1回目であり、これから2回、3回と行われ、大所帯で行われる「本番」もまた別に予定されているようだ。

さて第一回目の祝賀会の席で木村さんは謝辞を述べたのだが、それがまた彼らしい。「自分が優勝したのはここに置いて(笑)、それより岩沼連合会が連合会対抗レースで3羽帰し、13位、18位、41位と全国でもトップクラスの成績を残せました。それが何よりうれしいですよ。岩沼連合会、バンザイ！」

東日本大震災で憂き目に遭いながらも全くブレないその心意気。それは現在失われつつある「日本人愛鳩家」の真髓——義理人情に厚い。木村孝男という男は、「和」の心を何よりも重んじる「真の日本人愛鳩家」であった。



★以前自宅があった場所を指さす木村さんの震災直後の写真。これがベルギーの鳩新聞に掲載され、記事と共にヨーロッパ中に衝撃を与えた。

となった東日本大震災。当時、宮城県亘理町荒浜に住んでいた木村さんは、もちろんその被害を受けた。自宅は全壊した上、愛すべき家族を失い、また奇跡的に一命はとりとめたものの、自身も津波に巻き込まれるなど、まさにそれは絶望的な仕打ちだった。失意のどん底にあるにも関わらず、彼は被害者として引きこもるのではなく、なんと地元の消防団に入団。心身ともに傷だらけになりながら、苦しむ被災者たちのボランティア活動に従事した。一方、岩沼市内にあった鳩小屋はほぼ無傷であったため、地元の鳩仲間を少しも励まそうと自身の作出鳩や種

【伊賀国際鳩舎国際ダービー優勝の木村孝男さんに祝福のコメント】

- ◆渡辺敏治氏(岩沼連合会長・前列左から3番目)
「岩沼連合会は5年くらい前から連合会対抗レースに参加。去年、200キロの方で19位に入賞し、あともう少しということで、2口ばかり参加しました。輸送は3回にわけその2回目の輸送がヒットしましたね。連合会対抗レースの300キロの方で13位、18位、41位。3場合とも続行し、うち木村さんの委託鳩が400キロで優勝。おめでとうございます。彼のようなムードメーカーが勝ってくれたので、岩沼連合会はもっと、もっと盛り上がるでしょう。」
- ◆明珍光男氏(岩沼連合会・前列右端)
「木村さん、優勝おめでとうございます。やりましたね。苦節何年ですか(笑)。自分のことのようにうれしいです。実は木村さんと私、そしてあともう1人の3人で岩沼連合会として同タイミングで1羽ずつ伊賀に送ったのですが、全鳩、連合会対抗レース300キロで好結果を残せました。プラス、木村さんの活躍も踏まえ、俄然私も委託に力を入れたいくなりました。これから伊賀は西コースになるそうで、地元のレースと同じコースになります。そういう意味で楽しめそうです。」
- ◆島中直彦氏(仙塩連合会・後列左)
「木村さんおめでとうございます。突然ふってわいたような吉報だったもので最初は驚きましたが、彼の鳩レースに対する情熱からすると、当然のことだと思います。優勝鳩の血統も素晴らしく、父親がニコ・フォルケンス、母親がノルマンのKBDBナショナルエースピジョン賞の娘。ヨーロッパの最高血統です。私の勉強のために今度掴ませてください(笑)」。
- ◆渡辺義弘氏(福島北部連合会・後列右)
「私も八郷と伊賀に委託していますが、勝つどころか帰すことさえ本当に難しいと思います。そんな中、木村さんは1羽参加で優勝…。本当にものすごいことをやってくれました。おめでとうございます。私も作作的なことを彼から勉強し、今後に生かしたいですね。」



「1回目」の祝賀会は、木村孝男さん(前列左から2番目)の御息子が災害後に仮設住宅で開店した焼肉屋「野風増」で行われた。左端は木村さんの鳩飼育のパートナー・庄司善悦さん。

15年春伊賀国際鳩舎国際ダービー400K優勝鳩「Q01」と140L06901の血統

「Q01」の母——

- ②B13-3096540 DCPW N&F・ノルマン作
- ダライ B08-3153056 BC ノルマン作翔 KBDBナショナルエースピジョン賞 長距離部門6位
- アンタンベルジュ Nエースピジョン賞2位
- B12-3002380 B ノルマン作



「Q01」の父——

- ①08SA02176 RC 香山光男作
- 01SA19205 BC オラニー921号× スーパーイヤリング (モントーバンNセクターII優勝) 兄弟の直仔/GN総合優勝 孫/GN連盟7位
- NL00-1789798 RC プロウエル種鳩 両親共にニコ・フォルケンス作 純ヤン・テレン 直仔/バルセロナN4位・IN8位、ホルド-SN10位



「Q01」

- 140L06901 DCW ♂ 木村孝男鳩舎作・委託
- 08SA02176(写真①) RC 香山光男作
- B13-3096540(写真②) DCPW N&F・ノルマン作



★「Q01」のヒップライン。木村孝男さん自身、100羽以上掴んだ経験から、細身でありながら分厚いこのヒップを大絶賛していた。

師匠である遠藤芳春氏からのコメント

「木村くん、伊賀国際鳩舎国際ダービー400K優勝おめでとう。正直者が日の当たる場所にて、やっと本来あるべき姿に戻ったような気がします。これからもより一層の精進を期待しています。」

木村孝男鳩舎(岩沼連合会)